



東京地区生コンクリート協同組合  
〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号  
電話番号 (03) 3271-2181  
URL:https://www.t-namakyo.jp/  
発行責任者 高 村 尚

## ＝協組の動き＝

(12月)  
8日(月) 理事会(No. 1249)  
22日(月) 理事会(No. 1250)

(2026年1月)  
6日(火) 新年賀詞交歓会  
13日(火) 理事会(No. 1251)  
26日(月) 理事会(No. 1252)

**東京協組  
新年賀詞交歓会**  
日時 **1月6日(火曜日)**  
**11時より**  
場所 **第一ホテル東京**



Merry Christmas  
and  
Happy New Year 2026

## 2025年 協組トピックス①

2025年は一昨年4月に実施した出荷ベースでの販売価格の期間契約を主眼とした「契約方式の変更」の完全定着を最重点課題とする各種取り組みを実施する年になりました。年末を迎えるに当たり、この1年間における当協組を取り巻く出来事や当協組の活動について改めてご報告します。

### 【1月～3月】

#### 1. 新年賀詞交歓会開催(1月7日)

1月7日(火)に都内のホテルで登録販売店やセメントメーカー他関係者及び組合員各社の代表者約200名の参会の下に新年賀詞交歓会を開催。森理事長が年頭挨拶の中で、本年度の最重点課題として「出荷ベース(期間契約)の完全定着による適正価格の獲得」に言及、スライド改定や完全週休2日制の導入と併せ、各関係先に当協組の施策への理解・協力を要請。

### 【4月～6月】

#### 1. 登録販売店契約更新(4月1日付け)

2月中に実施された登録販売店各社との取引方針に関する個別ヒアリングの結果を踏まえ、29社と「登録販売店取引基本契約」を4月1日付けで更新。

#### 2. 2025年度生コン販売価格改定実施開始(4月1日)

項目	内容
改定額	3,000円/m <sup>3</sup> の値上げ (出荷ベース継続)
定価	25,000円/m <sup>3</sup>
適用期間	2025年4月1日～2026年3月31日までの出荷期間

#### 3. スライド価格改定実施開始(4月1日)

(1) 配合値差スライド単価の改定(セメン

ト価格の大幅上昇の影響を反映)

(2) 各種付帯事項の改定(出荷予定キャンセル料金、各種試験料金、持ち帰りコンクリート取消料金等)

#### 4. 完全週休2日制導入実施開始(4月1日)

業界全体の喫緊の課題である人材確保の観点から、完全週休2日制(土曜・日曜・祝日完全休日)導入を4月1日より実施開始。

#### 5. 第49回通常総会開催(5月26日)

5月26日(月)に都内のホテルにて開催。森理事長の冒頭挨拶の後、議長に常任理事の桐生了英氏が選任され、全議案が承認可決。尚、本年は役員改選期に当たる為、役員(理事・監事)の任期満了に伴う全員の改選が審議され、原案どおり承認可決。通常総会終了後に開催された理事会において森秀樹氏が理事長に再選された。

#### 6. 建設物価・経済両調査会物価版表示価格の上伸(6月号で満額反映)

調査会	掲載月号	改定幅	表示価格 (東京地区)
建設物価調査会	6月号	+3,000円/m <sup>3</sup>	23,800円/m <sup>3</sup>
経済調査会	6月号	+3,000円/m <sup>3</sup>	23,600円/m <sup>3</sup>

### 【7月～9月】

#### 1. 原材料等価格動向調査実施(7月～8月)

原材料購入価格や輸送費、設備管理維持費、労務費、産廃処理費等の上昇の状況について、前年度に実施した調査時以降のコストアップに関する組合員へのアンケート調査を実施。生コン工場原価が更に上昇している実態を確認。

## 天王洲アイル

嶋津 成昭

天王洲アイルは、1980年代後半から1990年代前半にかけての「バブル景気」という日本の輝いていた時代が、そのエネルギーを注ぎ込んで生み出した再開発の金字塔です。

かつては、倉庫や工場が並ぶだけの運河沿いの寂しい土地でしたが、一気にオフィスや商業施設、住居が揃う複合都市へと華麗に生まれ変わりました。

私たち関東宇部社にとって、天王洲アイルは単なる都市開発の成功事例ではありません。なぜなら、この地の一部には、長きにわたり関東宇部コンクリート工業の品川工場(当時は品川コンクリート工業)が存在していた、という特別な歴史があるからです。

そして何より、当時の宇部興産(現UBE)本社ビル、現在のJTB本社ビルは、この場所で生まれた育った当社の生コンクリートを基礎として築き上げられているのです。

「自社の材料で、未来の都市機能象徴する建物を築く」これは、当社にとって非常に誇らしいことでした。さらに、1992年に開業した東京モノレールの「天王洲アイル駅」は、この開発に携わった三菱商事他4社による請願駅として建設されています。この駅の誕生こそが、新しい都市空間、すなわちトレンドイドラマのロケ地としてお洒落な若者がこぞって集まる、熱狂的な流行発信地のスタートを告げたのです。

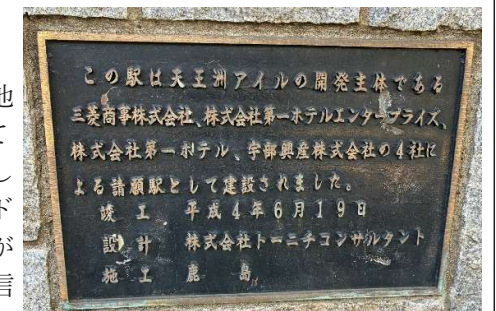


そして何を隠そう、当時独身貴族を謳歌していた小生も、週末はこの地周辺で、「いかに女性にモテるか」そればかりを考え、合コンの参加に精を出す日々でした。あの頃の熱狂的なエネルギーは、きっと今もこの街のコンクリートの奥底に詰まっていると信じています。

あれから30年以上が経過しました。天王洲アイルを訪れるたび、わが社の工場があった土地に当社の生コンクリートが未来を築いたという事実、深い感慨を覚えます。

この街のコンクリートの奥には、バブルの熱気と、この地の建設に携わった方々の誇り、そして若き日の小生の「モテたい」という淡い執念が、今も固く息づいているのです。

(関東宇部コンクリート工業株式会社 代表取締役)



	(出荷数量)		(引合、成約、契残)	
	11月(実績)	12月(月初想定)	11月(実績)	前年比
大型	161,602 m <sup>3</sup>	180,000 m <sup>3</sup>	引合	207,410 m <sup>3</sup> 390.8%
小型	19,750 m <sup>3</sup>	20,000 m <sup>3</sup>	成約	168,990 m <sup>3</sup> 337.7%
計	181,352 m <sup>3</sup>	200,000 m <sup>3</sup>	契残	3,816,915 m <sup>3</sup> 119.6%

## 2. 2026 年度以降の生コン販売価格決定(8月25日)

原材料等価格動向調査の結果を踏まえ、8月25日に開催した理事会において以下のとおり2026年度以降の生コン販売価格の設定を決定。コストアップは更に継続しているものの、得意先様へのご説明を行う為の十分な期間が必要と判断したことから、今回に限り2026年度は値上げ実施を見送り、2027年度に現行価格(定価 25,000 円/m<sup>3</sup>)から3,000 円/m<sup>3</sup>以上の幅での値上げを実施することとした。

### (1)2026 年度価格設定内容

項目	内容
契約方式	出荷ベース(継続)
定価	25,000 円/m <sup>3</sup> (2025 年度価格据置)
適用期間	2026 年 4 月 1 日～ 2027 年 3 月 31 日までの 出荷期間

# 2025年 協組トピックス②

### (2)2027 年度価格設定内容

項目	内容
契約方式	出荷ベース(継続)
定価	28,000 円/m <sup>3</sup> + α (3,000 円/m <sup>3</sup> 以上の値上げ)
適用期間	2027 年 4 月 1 日～ 2028 年 3 月 31 日までの 出荷期間

### 3. 登録販売店会議開催(9月18日)

2026 年度における販売方針や各種取り組み事項に関する周知、協力要請を行う為に開催し、主に以下事項について説明した。

- (1)2026 年度以降の生コン販売価格の設定について(前述記載のとおり)
- (2)スライド価格改定の完全浸透(前述記載のとおり)
- (3)軽量コンクリートの販売価格改定

## 東京生協ニュース: まど

(軽量骨材の値上げ実施に伴い、軽量コンクリートの定価を2026年4月1日より普通コンクリートの定価 25,000 円/m<sup>3</sup>に15,450 円/m<sup>3</sup>を加算して40,450 円/m<sup>3</sup>とする。)

### 【10月～12月】

#### 1. 記者懇談会開催(11月5日)

日本経済新聞社、セメント新聞社、コンクリート新聞社、日刊建設工業新聞社及び建通新聞社の報道5社の他、建設物価・経済両調査会の出席により開催。2026 年度以降の生コン販売価格の設定、当協組の現況についての具体的な説明を行い、各種の施策に関する対外周知を実施。

2026 年も引き続き協組諸施策への取り組みを実施して参りますので、組合員各社を始め各関係先の皆様のご高配を賜りますようお願い致します。

式典は来賓参会者の紹介の後、来賓祝辞として、小森卓郎経済産業大臣政務官、国土交通省不動産・建設経済局の楠田幹人局長、日本建設業連合会の宮本洋一会長、全国建設業協会の今井雅則会長、セメント協会の諸橋央典会長が各々ご挨拶されました。

来賓祝辞の後、東京科学大学の長瀧重義名誉教授が「JIS A 5308 レディーミクストコンクリート その成立および改正を考える」の演題で記念講演を行い、盛会の内に閉会しました。

尚、式典終了後には自由民主党生コン議員連盟の麻生太郎会長の乾杯発声により、祝賀会が開催されております。

## わが社のじまん話

当社は、調布市に「むさしの生コン(株)調布工場(三多摩太平洋調布工場)」と武蔵村山市に「むさしの生コン(株)横田工場」の2工場を有しています。

調布市は新宿から10キロの位置にあり1300年の歴史のある深大寺、バラ園で有名な神代植物公園、新選組の近藤勇の生誕地、サッカークラブチームFC東京の本拠地でもある「味の素スタジアム」などがあります。とりわけ深大寺は「深大寺そば」が有名で、多彩なそばを楽しめるお店が20軒以上連ねております。当社にお越しの際には、おすすめ「天ざる」の名店にお連れ致しますので、一緒にお蕎麦を堪能しましょう。

当社調布工場の骨材サイロは鉄筋コンクリートで出来ており、高さ22m長さ44m幅12mあり、区画11層、9400tの骨材の貯蔵能力があります。なぜ建設コストの高い鉄筋コンクリート製を採用したのかは、一重に騒音の低減を目指した結果でした。またこのサイロの裏側壁面いっばいに樹木のイラストを描いてあります。これも先人の方々がサイロの威圧感を考えて施しました。工場内も騒音対策として、バッチャープラ



## むさしの生コン 株式会社

ントに防音材、ダンプ骨材受入れ口には防音テントを設置してあります。そして従業員・ミキサー車の駐車場周囲には主に樫を植林して緑化対策を施しています。また、生コン工場ではめずらしい2tクラスの路面清掃車を所有しており、近隣の道路を週1回清掃しております。このように当社は、安全と地域環境の調和を経営の最優先課題として取り組んで参りました。



当社の調布工場が現在の工場の姿になってから「37年」、横田工場が「31年」と古い工場ですが、工場に来るお客様から「きれいにしていますね」というお褒めのお言葉をよく頂きます。それらも従業員各々が粉塵防止のため構内の水撒き、掃除がしやすいよう整理整頓を常に行う等、日常の小さな工夫の積み重ねの賜物と自負しております。

安全・環境対策はどちらの生コン会社様も取り組まれている事柄と存じますが、改めて当社は「安全・環境調和最優先の社風」「古くともきれいな工場」「常に安全・環境対策に取組む従業員」を自画自賛ながら「わが社のじまん」とさせていただけます。

## 全生工組連 創設50周年 記念式典開催

11月10日(月)に都内のホテルにおいて、全国生コンクリート工業組合連合会の創立50周年記念式典が各地区の工組・協組の代表者や来賓の多数参会の下に開催されました。

斎藤会長が式典の冒頭挨拶の中で来賓参会に対する謝辞を述べられた後、連合会創立後の半世紀を振り返り、「国民の生活を守る産業」としての自負の下に諸課題に向き合ってきた歴史に触れられました。その中で、これまでに取り組んだ主な課題として、(1)構造改善事業への取り組み (2)生コンの信



(写真)

全生工組連 斎藤 昇一 会長

頼性の確保(品質管理監査制度の構築) (3)適性価格・需要・人材の確保 を取り上げ、「物価資料への早期価格反映」や「契約形態の見直し」の重要性について説明されましたが、今後の業界の更なる安定の為には構造改善の実施が不可避であるとし、協組の統合や工場の集約等の諸施策の必要性について強調されました。